

研究会開催通知

(昭和52年9月15日～10月31日)

研究会	日	時	会場	備考
イメージ・プロセッシング	9月20日(火)	14:00～17:00	リモートセンシング技術センター	前号参照
コンピュータ・ネットワーク	9月21日(水)	14:00～17:00	機械振興会館	同上
ソフトウェア工学	9月21日(水)	14:00～17:00	同上	同上
人工知能と対話技法	9月22日(木)	14:00～17:00	同上	同上
医療情報処理	9月27日(火)	13:30～17:00	同上	同上
計算機アーキテクチャ	9月27日(火)	14:00～17:00	同上	同上
記号処理	10月6日(木)	10:00～15:00	東京工業大学	下記参照
医療情報処理	10月14日(金)	9:00～21:00	大宗新宿ビル	同上
	10月15日(土)	9:00～17:00		
計算言語学	10月21日(金)	14:00～17:00	機械振興会館	同上

◆ 第2回 記号処理研究会

(主査: 淵 一博, 代表幹事: 竹内郁雄, 佐々木建昭, 田中穂積)

- 日時** 昭和52年10月6日(木) 午前10時～午後3時
- 会場** 東京工業大学 中棟2階会議室
〔東京都目黒区大岡山 2-12-1, 東急電鉄: 田園都市線又は目蒲線大岡山駅下車 Tel. 03 (726) 111〕
- 議題**
- (1) LISP マシン ALPS/1 の性能評価
井田晶之, 小林茂男, 山方宏修 (青学大)
〔概要〕 LISP マシン ALPS/1 の性能評価を行うために, 箱入り娘の問題をとりあげて論じる.
 - (2) LOREL-2 言語について
榎本 進, 宮地利雄, 片山卓也, 榎本 肇 (東工大)
〔概要〕 LOREL-2 言語の概要, コンパイラ, インタプリタの構成について説明する.
 - (3) 多変数多項式の簡単化 (最適化) について
佐々木建昭 (理研), 金田康正 (東大・理)
〔概要〕 Honer 法その他により多変数多項式を数値計算向きに最適化するための規則を簡単なモデルを用いて導出する.
 - (4) 定理証明システムの出力形式について
中西正和, 永田守男, 植田健治 (慶大・工)

〔概要〕 出力をできるだけ自然な形式で得るような定理証明システムを紹介する。

(5) 東工大の情報工学科を中心とする見学会

◆ 第19回 医療情報処理研究会

(主査: 開原成允, 代表幹事: 上野晴樹, 佐々木陽, 飯坂譲二, 稲田 紘)

日 時 昭和52年10月14日(金) 午前9時~午後9時

10月15日(土) 午前9時~午後5時

会 場 大宗新宿ビル 7階会議室

〔東京都新宿区新宿 4-2-23, 国電: 新宿駅南口より徒歩3分 Tel. 03 (354) 9184〕

議 題 耳鼻咽喉科領域における情報処理——特に生体情報処理について

特に今回は坂部長正(中央鉄道病院), 小池靖夫(近畿大・医), 酒井俊一(大阪回生病院)の各氏にアレンジをお願いした。

10月14日(金)

(1) コンピュータの基礎 白倉俊雄(DEC社)

〔概要〕 コンピュータの基本的動作と, アナログ・デジタル変換器を中心として構成される耳鼻咽喉科用コンピュータシステムについて解説する。

(2) 生体情報処理の手法 篠崎国雄(日本光電)

〔概要〕 雑多な信号を含んだ一次情報の中から, 耳鼻科で必要な情報を得るための処理法について解説する。

(3) 平衡機能検査への応用(I) 渡辺行雄(新潟大・耳鼻科)

〔概要〕 眼振波形処理の過程を通して, アナログ波形処理の基礎的条件について述べる。

(4) 平衡機能検査への応用(II) 時田 喬(岐阜大・耳鼻)

〔概要〕 コンピュータの導入により, 起立検査, 前庭眼反射検査, 視運動性眼振検査などの解析方法について述べる。

(5) 音声検査への応用 小池靖夫(近畿大・耳鼻)

〔概要〕 音声の音響分析たとえば基本周期や振幅の解析を例として音声研究への利用法を解説する。

(6) 聴力検査への応用(I), (II)

坂部長正(中央鉄道病院・耳鼻), 小川克二(福島医大・耳鼻)

〔概要〕 聴性電気反応のデータ処理に関して, 加算平均法もふくめ各種の処理方法について解説する。

10月15日(土)

(7) 画像処理の応用 高木幹雄(東大・生研)

〔概要〕 計算機による濃淡またはカラー画像の画質の向上, パターン計測, 顕微鏡画像処理法の耳鼻科領域への応用について述べる。

(8) 聴覚系のシミュレーション 境 久雄(NHK)

〔概要〕 蝸牛内の振動や聴覚神経系の持つマクロな性質を, モデルによって

調べる方法や考え方について解説する。

(9) 基礎医学における意志決定 開原成允 (東大病院)

〔概要〕 最近の情報科学は、意志決定の問題に対して多くの手法を提供している。この手法の耳鼻咽喉科領域への応用について述べる。

〔詳細は中央鉄道病院耳鼻咽喉科、坂部長正 Tel. 03 (379) 1111 内 (8083) にお問合せ下さい。〕

◆ 第12回 計算言語学研究会

(主査: 和田 弘, 代表幹事: 西村恕彦, 長尾 真, 野崎昭弘)

日 時 昭和 52 年 10 月 21 日 (金) 午後 2 時～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町駅, 都営 1 号線大門駅, 都営 6 号線御成門駅下車, 国電: 浜松町駅下車, バス: 新橋—渋谷線東京タワー, 等々力—東京八重洲口線飯倉 1 丁目下車, Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 (1) 漢字姓名による検索 田中康仁 (日本ユニバック)

〔概要〕 漢字のデータ・ファイルが各方面で使われているがこの検索にあたってはカナ文字とはちがった問題点が発生する。そこでこれら問題点をあげ、その解決方法を述べる。(例—新旧文字の相違による検索ミスとか……)

(2) 日本語の点字情報に関する計算機処理 (1)——Braille 符号と漢字の変換処理—— 坂本義行 (電総研)

〔概要〕 日本語と点字間の変換処理として, Braille, 仮名, 漢字の符号系, 変換方法, 入出力装置等について述べる。

NCC '78 論文投稿のお願い

本会誌 8 月号でお知らせしましたように, 1978 National Computer Conference は昭和 53 年 6 月 5 日～8 日の間米国カリフォルニア州アナハイム (Anaheim) 市で開かれます。論文を投稿される方は必ず下記に御投稿下さいますようお願い申し上げます。(前号では, S. Miller 氏あるいは L. Liu 氏へ提出するように書きましたが, 日本の論文はすべて相磯教授へ提出して下さい。)

記

1. 論文投稿先

〒223 横浜市港北区日吉町 832 慶應義塾大学工学部 相磯秀夫

2. 投稿〆切り日

昭和 52 年 10 月 21 日 (書留郵便のこと)

3. 問合せ先

論文投稿先と同じ 電話 044 (63) 1141 内線 3320



第3回 日米コンピュータ会議

——発表論文，参加の申込みについて——

本学会と米国 AFIPS の共催による第3回日米コンピュータ会議 (3rd USA-Japan Computer Conference) は、下記により開催されます。

これにともない、発表論文の募集をおこないます。

今回は、米国本土で開催されますので、渡航費予算確保の手続等を早目に開始され、ふるってご参加いただきたくご案内申し上げます。(前号で、9月19日からハワイで開催の旨会告しましたが、10月第2週にサンフランシスコで開催することに変更されました。)

なお、日本側の発表論文の概略、および参加予定を知るため11月30日まで別紙に記入のうえ、ご返送をお願いします。

記

1. 開催日 1978年10月10日～12日(予定)
2. 場所 サンフランシスコ市ジャック・ター・ホテル(予定)
3. 予定部門

重点テーマ

- (1) Business Computing (EDP Auditing, Data Base Management Systems, Word Processing, Text Processing を含む)
- (2) Personal Computing
- (3) Medical Computing
- (4) Distributed Computing (Computer Networks を含む)
- (5) Very Large Scale Integration (Design Automation を含む)
- (6) Reliable Computing (Software Validation を含む)
- (7) Memory Technologies (Bubble and CCD を含む)

一般テーマ

- (1) Mathematical Foundations of Information Processing
- (2) Numerical Methods and Computations
- (3) Hardware for Processors, Memory, and Peripherals
- (4) Architecture: Micro, Mini, and Maxi
- (5) Operating Systems
- (6) Programming Languages and Translators
- (7) Problem-Solving Techniques and Programming Methodology
- (8) System Performance and Evaluation
- (9) Simulation and Modeling
- (10) Artificial Intelligence and Its Applications
- (11) Specialized I/O: Graphics, Speech, Kanji
- (12) Industrial Applications
- (13) Small Commercial Systems
- (14) Banking and Reservation Systems

- (15) Computers in the Instructional Process
- (16) Computers and the Law
- (17) Computers and the Handicapped
- (18) Computers in the Arts and Humanities

(注) 今後、若干の変更の可能性があります。また発表論文数は第2回と同様、日米ほぼ同数(各50編)の予定です。

4. 運営委員会

(日本側) 名誉委員長: 北川敏男(九大名誉教授), 委員長: 大野 豊(京大), 事務局長: 伊藤 宏(日電), 委員: 瀬野健治(財務, 富士通), 元岡達(論文, 東大), 山田尚勇(論文, 東大), 山本哲也(登録, 国鉄), 中田育男(設営, 日立), 武田俊男(広報, 日本アイ・ビー・エム), 藤野喜一(監査, 日電)

(米国側) 名誉委員長: R. I. Tanaka, 委員長: J. D. Madden

5. 論文募集要項

- (1) 内容: オリジナルな研究発表(Original Paper)または総合報告(Review Article: 研究動向・技術開発・応用の展望など)
- (2) 用語: 論文はすべて英文とします。
- (3) 発表論文: 本論文に英文アブストラクトを付して提出して下さい。
本論文: 英文 5,000 words 以内
アブストラクト: 英文 150 words 以内
いずれもダブル・スペースのタイプ打ちとし、ゼロックスなどの黑白のコピーを5部添えて「日米コンピュータ会議応募論文」と明記し、ご提出下さい。最終稿は、日米両論文委員の審査のうえ採択された場合、所定の形式にタイプしてご提出いただきます。
- (4) 締切り: 1978年2月末
- (5) 申込み: 論文発表希望者は裏面参加仮申込書により、11月30日までにお申し込み下さい。これは日本側の論文予測をおこなうためのもので、ご協力をお願いします。

6. 参加募集について

- (1) 正式募集の開始については追ってお知らせします。
- (2) 会議参加費は、30,000円(予定)です。
- (3) 渡航については団体便の手配を予定しております。(決まり次第本欄でお知らせします。)
- (4) 仮申込み: 日本側参加者の予測をおこなうため裏面参加仮申込書にご記入のうえお申し込み下さい。

7. その他

詳細については、決定次第本欄にてお知らせします。

8. 問合せ、申込み先

〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 (社)情報処理学会 Tel. 03 (431) 2808



**3RD USA-JAPAN
COMPUTER CONFERENCE**

第3回 日米コンピュータ会議
参加仮申込書

氏名	(和文) (英文) Prof. Dr. Mr. Ms.
勤務先	(和文) (英文)
勤務先住所	(和文) ☎ ☎ (Tel.)
自宅住所	(和文) ☎ ☎ (Tel.)
●所属学会	
<input type="checkbox"/> 情報処理学会	<input type="checkbox"/> 電子通信学会 <input type="checkbox"/> 電気学会
<input type="checkbox"/> 計測自動制御学会	<input type="checkbox"/> 日本 OR 学会 <input type="checkbox"/> 日本 ME 学会
会員 No. _____	

学会よりの資料等送付先	住所 〒
	氏名 殿

●該当事項の□に✓を付け、各欄に記入のうえ、11月30日までに下記にご送付下さい。
送付先：〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 (社)情報処理学会

第3回日米コンピュータ会議への参加について

- 参加を予定している。
- 次の条件のもとで参加できる。

第3回日米コンピュータ会議への論文応募について

- 論文を応募予定である。 論文は応募しない。

部門名： _____

応募論文テーマ (英文)

SE の教育に関する講演会の案内 (予告)

来る 11 月 15 日(火) 17:30 から機械振興会館において、システムズエンジニアの教育に関する講演会を開く予定です。詳細は次号をご参照ください。

昭和 52 年度 第 18 回 全国大会の案内

本大会は、来る 10 月 3 日(月)、4 日(火)、5 日(水)の 3 日間、東京工業大学(目黒区大岡山)で開催されます。

プログラムおよび参加要領は、前号(8 月号)本欄に掲載されておりますので、ご確認のうえご参加ください。

なお、参加費は会員 1,000 円、非会員 1,500 円、論文集は定価 5,000 円です。